一般質問
（要旨）

みんなを待ってるよ
（アキシマエンシス内）

昭島都市計画中神土地区画整理事業について

無会派　南雲 隆志 議員

質問　昭島都市計画中神土地区画整理事業は、昭和39年の事業認可から55年以上が経過した。その取り組みにより、中神駅北側の地域は大きく発展し、功績は大きいと考える。①事業が長期にわたっていることについて、考えは。②平成21年度から30年度までの間の駅前ブロックの事業について、10年間の実績は。③第二工区、第三工区における下水道の整備完了により、地域の環境は大きく改善された。平成11年から15年までの下水道の整備状況は。④第二工区の駅前ブロックについて、事業の進捗状況と完了予定時期は。⑤第二工区の北ブロックと西ブロックについて、早期に仮換地を行い、事業を同時に進めるべきと考える。所見は。⑥第三工区について、今後の考えは。

答弁　①社会状況の大きな変化に鑑み、着実な事業の取り組んでいる。⑤地権者等の意見を聞きながら、地権者等で組織する調査会等に諮り、事業の進め方を定めていきたい。⑥事業の早期完了を図るため、第二工区と同時期に第三工区の事業の在り方を検討する必要があると捉えている。

質問　病児・病後児保育に関して、①国からの補助金が利用人数に応じて変わるため、利用率を上げていくことが必須の課題である。既に設置済みの隔離室を活用したインフルエンザ等の罹患児受入れ、対象年齢の引上げ等の拡充をすべきと考えるが、所見は。②市外利用者の受入れで利用率の向上が見込まれるため、広域連携を進める考えは。

答弁　①安定的な運営を目指しながら、事業の進捗を見極める中で、順次検討していきたい。②まずは市の保育施設等に通っている児童の受入れの安定的実施に注力し、先行自治体の事例を参考に調査・研究していきたい。

働く子育て世代が住みやすい環境整備について

無会派　ゆざ まさ子 議員

質問　多胎児支援を必要とする保護者は増えている。単胎児に比べ、育児の過酷さと負担は計り知れない。都の令和2年度予算に計上された「とうきょうママパパ応援事業」の多胎児支援について、積極的に活用すべきと考えるが、所見は。

答弁　詳細が示されていないため、今後明らかとされる事業内容などを精査する中で、どのような取り組みが可能となるのか、また効果的で効率的なものとなるのか、慎重に検討していく。

質問　学童クラブでは待機児童が発生している。放課後子ども教室が午後5時まで利用できれば、待機児童ゼロにつながると考える。放課後子ども教室と学童クラブの一体的な取り組みを推進していくべきでは。

答弁　学童クラブと放課後子ども教室のこれまでの経過を踏まえつつ、更なる一体的運用については、先行して実施をしている自治体の事例等を参考に研究を深めていきたいと考えている。

住んでみたい・住み続けたいまちづくりについて

公明党昭島市議団　吉野 智之 議員

質問　多摩川沿いの道路で国道16号と交わる多摩辺通りは、自動車やトラックが多く、信号機が少ないためスピードも出ている。歩行者の安全確保のため、①道路北側の用水路を暗渠にして拡幅し、南側に新たに歩道を設置しては。②交通ルールの遵守について、民間事業者からの協力を仰ぎ、地域住民も交えた協議の場を用意する考えは。また、警察とも協議・検討すべき。

答弁　①道路北側の住民への影響や道路に曲線部が生じることでの事故の発生などから困難性がある。②民間事業者に、出入りする車両等の交通ルール・マナー遵守の徹底を引き続き要請し、住民参加の協議について、どのような対応が可能か研究していく。また、昭島警察署と路面表示の再設置や取り締まり強化について協議し、検討していく。

質問　不育症の取り組みについて、①市独自の要件で検査治療助成制度を立ち上げるべき。②対象者へのメンタルヘルスケアの考えは。

答弁　①不妊治療に対する支援の枠組みで対応が可能と考えるが、今後どのような取り組みが可能か総合的な検討を進めていく。②助産師相談や妊娠ＳＯＳ相談事業などを実施している。引き続き、相談者に寄り添った支援に努めていく。

質問　医療費控除申請の利便性向上のため、申請時の明細書として使用することができる書類を国民健康保険加入者に送付しては。

答弁　システムの大規模な改修が必要となることから、次期システムの更新の際に、ｅ－Ｔａｘへの対応なども視野に入れ、市民の利便性向上につながるように機能改善を図っていきたい。

災害対策の充実について

公明党昭島市議団　松原 亜希子 議員

質問　災害対策の充実について、①避難所運営キットを小中学校体育館に常備し、防災訓練等で活用し、災害に備えることが重要と考える。今後の対応は。②断水時でも使える液体ミルクと、使い捨て哺乳瓶を備蓄すべき。③女性のための防災対策ハンドブックの作成を。

答弁　①他市の活用状況等も踏まえながら、不足している配備品を補っていく。②令和2年度から粉ミルクに加え、液体ミルクを備蓄していく。哺乳瓶はガラス製のものを備蓄しているため、消毒液を併せて備蓄していく。③防災マニュアルの充実を図る中で、女性目線の内容を盛り込むよう検討していく。

質問　つつじが丘周辺の安全対策について、①市道北146号、147号、148号のガードパイプが経年劣化で錆びている。早期に補修すべき。②市道北146号の歩道整備を。③児童・生徒や地域住民の安全確保のため、瑞雲中学校交差点への歩車分離式信号機の早期設置を。④市道北101号の地下通路の防犯灯をＬＥＤ化し、防犯カメラを設置する考えは。

答弁　①様々な検証を踏まえ、改修に取り組んでいく。②ユニバーサルデザインの考えに基づき、安全面に配慮した路面改修を検討していく。③昭島警察署と協議、調整してきたが、設置には至っていない。引き続き協議、調整していく。④照明のＬＥＤ化について検討していく。防犯カメラについては、補助金の活用も視野に入れ、検討していく。

質問　心身障害者の暮らしの支援のため、福祉タクシー利用費助成事業の拡充を。

答弁　拡充に向けた具体的な検討を進めていく。

5面下段より

みの毎週収集の実現については、引き続き検討を願う。以上、「昭島大好き」ら しさにあふれる内容であると高く評価し、本予算に賛成する。

賛成
令和昭島の会　八田 一彦 議員

風水害対策の点では、災害対策用蓄電池の購入などにより災害対策の強化が行われており、環境との共生の点では、プラスチック-1（マイナスイチ）運動など実効性のある取り組みが予定されている。

また、アキシマエンシスの開館やＡバスの増車とルート見直しは住み続けたい昭島につながるものである。

今後は、まちゼミの補助や創業支援により、まちのにぎわいを取り戻す取り組みに力を入れ、新型コロナウイルスの影響を注視し、1店舗も、1事業所も見逃さずに支援することを願い、本予算に賛成する。

後期高齢者医療特別会計

反対
日本共産党昭島市議団　奥村 博 議員

後期高齢者医療制度は、75歳という年齢で高齢者を線引きして別の医療制度に強制的に加入させ、高齢者の医療切り捨てを狙ったものであり、厳しい批判の声が寄せられている。

２０２０、２０２１年度の保険料の所得割率は0.08ポイント引き下がったが、均等割額は800円の値上げとなり、平均保険料額は10万円の大台を超えている。

また、東京都後期高齢者医療広域連合が、保険料の負担抑制に活用できる財政安定化基金の約212億円を活用しないとしていることは許すことができず、本予算に反対する。

賛成
自由民主党昭島市議団　山本 一彦 議員

令和2年度は保険料を見直す時期であり、東京都後期高齢者医療広域連合は保険料増加抑制対策を継続することを決定した。結果、均等割額の引上げを年額で800円と低く抑えるとともに、所得割率では、0.08ポイントの引下げが可能となった。

予算編成では、歳入における保険料や一般会計繰入金、歳出における広域連合納付金など、必要な経費の適切な計上が図られている。

引き続き、医療費適正化事業の推進を図る中においても、高齢者が安心して医療を受けられる環境の維持・向上に取り組むことを願い、本予算に賛成する。